

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【公表番号】特表 2012-504397 (P2012-504397A)
 【公表日】平成 24 年 2 月 23 日 (2012.2.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-008
 【出願番号】特願 2011-529530 (P2011-529530)
 【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q 1/68 Z N A A

G 0 1 N 33/574 A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 26 日 (2012.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒト個体において前立腺がんの有無を確定する方法であって、

a) 前記ヒト個体を起源とする試料において H O X D 1 0 遺伝子の発現を決定するステップと、

b) 前立腺腫瘍細胞若しくは前立腺腫瘍組織を含まない前記ヒト個体、又は前立腺がんを患っていない個体を起源とする試料における前記 H O X D 1 0 遺伝子の発現と比較して、前記 H O X D 1 0 遺伝子の発現のダウンレギュレーションを決定するステップと、

c) 前記 H O X D 1 0 遺伝子のダウンレギュレーションの確定に基づき前立腺がんの有無を確定するステップと
 を含む、方法。

【請求項 2】

前記方法が更に、

d) 前記ヒト個体を起源とする試料において H O X C 6、T G M 4、R O R B、R R M 2、S F R P 2 及び S N A I 2 からなる群から選択される 1 以上の遺伝子の発現を決定するステップと、

e) 前立腺腫瘍細胞若しくは前立腺腫瘍組織を含まない前記ヒト個体、又は前立腺がんを患っていない個体を起源とする試料における前記 1 以上の遺伝子それぞれの発現と比較して、前記 1 以上の遺伝子の発現の アップレギュレーション又はダウンレギュレーションを決定するステップと、

f) 前記 1 以上の遺伝子の アップレギュレーション又はダウンレギュレーションの確定に基づき前立腺がんの有無を確定するステップと
 を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記方法が e x v i v o 及び / 又は i n v i t r o での方法である、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記発現を決定するステップが mRNA 発現を決定することを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記発現を決定するステップがタンパク質レベルを決定することを含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記 1 以上が、2 以上、3 以上、4 以上、5 以上及び 6 からなる群から選択される、請求項 2 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

ヒト個体において前立腺がんの有無を決定するステップが、低悪性度 PrCa (LG)、高悪性度 PrCa (HG)、PrCa Met 及び / 又は CRPC、好ましくは CRPC を同定又は診断することをさらに含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

ヒト個体において前立腺がんの有無を決定するための、少なくとも H O X D 1 0 遺伝子の発現分析の使用。

【請求項 9】

ヒト個体において前立腺がんの有無を決定することが、低悪性度 PrCa (LG)、高悪性度 PrCa (HG)、PrCa Met 及び / 又は CRPC、好ましくは CRPC を同定又は診断することをさらに含む、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 10】

前記発現分析が ex vivo 及び / 又は in vitro である、請求項 8 又は 9 に記載の使用。